経営比較分析表（令和2年度決算）

富山県　中央病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	500床以上	非設置
経営形態	**診療科数**	**DPC対象病院**	**特殊診療機能　※１**	**指定病院の状況　※２**
直営	33	対象	透Ｉ未訓ガ	救臨が感災地輪
人口（人）	**建物面積（㎡）**	**不採算地区病院**	**不採算地区中核病院**	**看護配置**
1,047,713	66,174	非該当	非該当	７：１

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
665	－	16
許可病床（精神）	**許可病床（感染症）**	**許可病床（合計）**
50	2	733
稼働病床（一般）	**稼働病床（療養）**	**稼働病床（一般＋療養）**
665	－	665

グラフ凡例
- ■　当該病院値（当該値）
- ー　類似病院平均値（平均値）
- 【】　令和2年度全国平均

※１　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※２　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院　地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

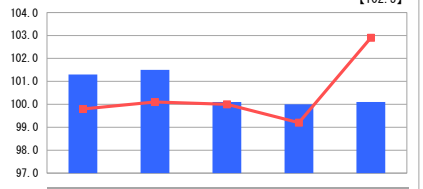
公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
－ 年度	－ 年度	－ 年度

1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)

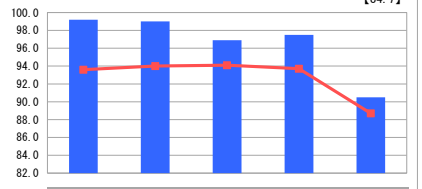
【102.5】



	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	101.3	101.5	100.1	100.0	100.1
平均値	99.8	100.1	100.0	99.2	102.9

②医業収支比率(%)

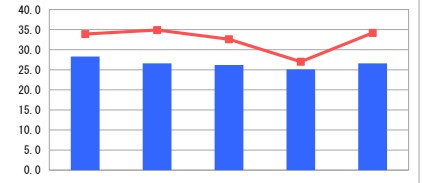
【84.7】



	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	99.2	99.0	96.9	97.5	90.5
平均値	93.6	94.0	94.1	93.7	88.7

③累積欠損金比率(%)

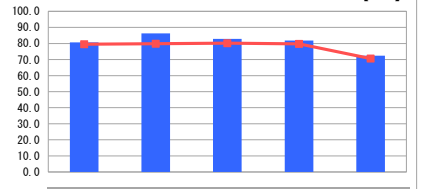
【69.3】



	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	28.3	26.6	26.2	25.1	26.6
平均値	33.9	34.9	32.6	27.0	34.2

④病床利用率(%)

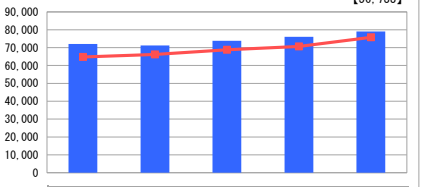
【67.2】



	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	80.7	86.3	82.9	81.8	72.4
平均値	79.5	79.9	80.2	79.8	70.6

⑤入院患者１人１日当たり収益(円)

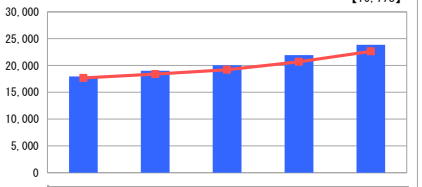
【56,733】



	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	72,039	71,258	73,856	76,110	79,057
平均値	64,765	66,228	68,751	70,630	75,766

⑥外来患者１人１日当たり収益(円)

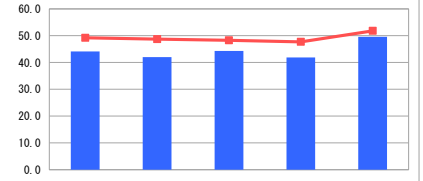
【16,778】



	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	17,959	19,027	20,044	21,937	23,863
平均値	17,680	18,393	19,207	20,687	22,637

⑦職員給与費対医業収益比率(%)

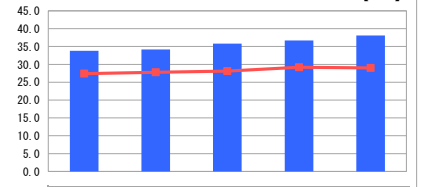
【58.8】



	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	44.1	42.0	44.3	41.9	49.6
平均値	49.2	48.7	48.3	47.7	51.8

⑧材料費対医業収益比率(%)

【24.8】

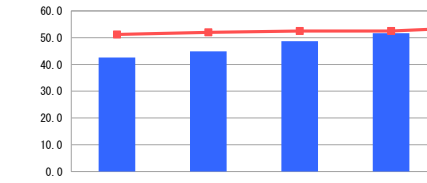


	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	33.8	34.2	35.8	36.7	38.1
平均値	27.4	27.8	28.1	29.2	29.0

2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)

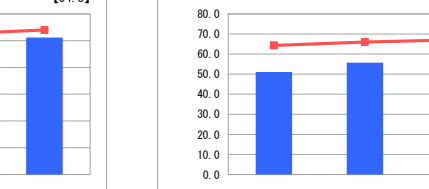
【54.8】



	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	42.6	44.9	48.7	51.7	51.2
平均値	51.2	52.0	52.5	52.5	54.0

②器械備品減価償却率(%)

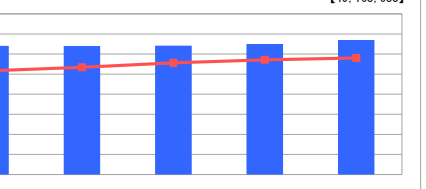
【70.3】



	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	51.1	55.7	64.1	70.3	61.4
平均値	64.3	66.0	67.1	67.9	69.2

③１床当たり有形固定資産(円)

【49,168,683】



	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	64,079,894	63,979,181	64,210,763	65,023,027	67,022,510
平均値	51,669,762	53,351,028	55,620,962	57,155,394	58,042,153

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

Ⅰ　地域において担っている役割

②救急・小児・周産期・災害・精神などの不採算・特殊部門に関わる医療の提供
③県立がんセンター等地域の民間医療機関では限界のある高度・先進医療の提供
④研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能

Ⅱ　分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

・経常収支比率、医業収支比率
令和２年度においては、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う診療控え等の影響により、入院患者・外来患者が減少したことから医業収入が減少した。一方、新型コロナ患者受入のための病床確保に伴う国からの補助金等により医業外収入が増加した。このことから、経常収支については昨年並みとなったが医業収支比率は低下した。
・病床利用率
入院患者の減少により、前年より低下となった。
・職員給与費医業収益比率
新型コロナ対応に伴う防疫手当の支給や会計年度任用職員制度の導入等に伴い、給与費が増加したことから、対医業収益比率も増加となった。

2. 老朽化の状況について

・有形固定資産減価償却率、器械備品減価償却率
令和２年度においては、28年度に整備した先端医療棟に係る建物・機械類の減価償却が始まったことから、29年度以降増加傾向にある。

全体総括

新型コロナウイルス感染症の流行により医業収入に大きな影響が生じたものの、国補助金の確保等により経営状況は前年並を維持している。今後も新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が見込まれるが、国補助金の確保や新たな診療報酬加算の算定、薬品費・診療材料費などの経費削減などに取り組むことで、さらなる経営の健全化に努めていく必要がある。